

これから建設業はどんな発展を目指すか

- 「北海道建設業将来ビジョン」
～北海道の礎を創り、地域をまもり、未来を創る～
- 北海道建設業協会創立百周年記念事業として作成
- 別冊として、北海道内町村長及び商工会長インタビュー
～「地域とともに生きる」～を作成
27人の町村長と商工会の代表
を訪問し、地域の課題を中心に
お話を聞き取ったものです。



【ビジョンで述べたいこと】

- ①「北海道成長戦略ビジョン」を広く理解していただくこと
- ②地域の建設業の役割を建設業自ら認識し、住民の人たちに理解していただくこと
- ③北海道の建設業がどう行動していくかを広く理解していただくこと
- ④「北海道成長戦略ビジョン」実現後の北海道をイメージしていただくこと



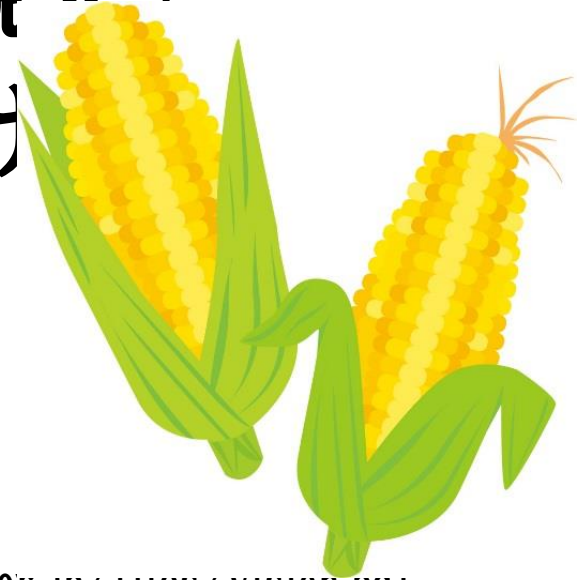
【ビジョンの建設業とは】

建設業は、スーパーゼネコンから個人事業主までさまざまな企業群ですが、ここでは、**地方の建設業を**
対象としています。ほとんどが中小企業・小規模企業で、北海道内の国・北海道・市町村などに関わる工
事を中心に行っている企業がどのような方向性を持って発展していくかを示すことを狙いとしています。

第一章 北海道の将来像と社会資本1

北海道成長戦略ビジョンでは、

重点分野として、「安全安心」、「食料」、「観光」、「エネルギー」、「物流」、の五項目を取り上げそれらについて政策を示しています。



北海道商工会議所連合会 <http://www.hokkaido.cci.or.jp/> 新着情報

2014.07.01【お知らせ】北海道成長戦略ビジョン・地域経済活性化プロジェクトを公開しました。

- 北海道成長戦略ビジョン「未来のリスクを「成長する」チャンスへ！」 <http://www.hokkaido.cci.or.jp/files/111es/vision.pdf>
- ビジョン概要版 <http://www.hokkaido.cci.or.jp/files/vision-summary.pdf>
- 地域経済活性化プロジェクト <http://www.hokkaido.cci.or.jp/files/project.pdf>
- 参考資料(平成25年10月現在) <http://www.hokkaido.cci.or.jp/files/vision-data.pdf>

第一章 北海道の将来像と社会資本2



第二節 『地域活性化プロジェクト』の概要と社会資本

六つの地域活性化プロジェクト、うち五つのプロジェクトは、社会資本整備が前提となっています。

「食料政策」、「観光政策」、「エネルギー政策」を北海道を活性化する柱とし、食料政策に物流機能強化を加えることで日本の食卓を支え、

統合型リゾートの整備とスポーツ・冬季オリンピックにより観光を活性化し、再生可能エネルギーの積極的な活用で日本を支える、こととしています。

加えて、この三つの柱を実現するために、**地域づくり・国土強靱化と起業家育成・人材育成、交通ネットワークの充実・強化を図っていく**
く内容です。

地域活性化プロジェクト概観

食料政策



物流機能強化

1 「食糧備蓄」と「物流システム」の融合-「日本の食卓を、生活を、北海道が支えます!」

観光政策

2 北海道に相応しいIR(総合型リゾート)構想の実現-「次世代の観光戦略『北海道型IR構想』を提案!」

3 冬季オリンピックで北海道を売り込め!-「『スポーツ』をキーワードに地域活性化!」

エネルギー政策

5 「自給・供給」するエネルギー新戦略-「日本を支えるエネルギー新戦略を北海道から!」



交通ネットワーク充実・強化

地域づくり・国土強靱化

4 既存の枠組みを超えた新たな地域づくり-
「企業誘致と連動した新たな『地域づくり』」

起業家育成・人材育成

6 次の世代を担う起業家・グローバル人材
を育成-「北海道の将来を見据えた人材育成」

※北海道商工会議所連合会「地域活性化プロジェクト」より、北海道建設業協会作成

第二章 建設業の果たす役割1

建設業は、「ものづくり産業」です。住宅、ビルディング、学校、道路、鉄道、地下鉄などの「もの」を作っている「ものづくり産業」です。

建設業は、「地域づくり産業」です。建設業が作り出す「もの」は、時とともに「街並み」となってきました。ひとつの「町」が出来上がってきました。建設業は、「町」をつくる「地域づくり産業」でもあります。

建設業は、「ひとづくり産業」です。建設業は、専門化した産業、大工さん、などと、それらをまとめてマネジメントをする総合建設業の集合体です。建設業の施工は、単品生産・現地施工であり機械化が困難な部分が多く、労働集約型です。そのため、人材の技能・技術に負うところが多く、人材育成が欠かせません。建設業は人材育成を積極的に図る「ひとづくり産業」でもあります。



第二章 建設業の果たす役割1 + ～北海道の礎を創り、地域をまもり、未来を創る～ (企業活動をおこなう中で行っていること)



「北海道の礎を創る」

1～社会資本の機能高度化、2～社会資本の維持管理更新、
3～社会資本の強靱化～

「地域をまもる」

4～災害応急対策活動、5～災害復旧・復興活動、

「未来を創る」

6～都市機能のコンパクト化、7～交通・情報・ライフラインネットワーク、

第二章 建設業の果たす役割1++ ～北海道の礎を創り、地域をまもり、未来を創る～ (地域企業として存在することの役割)

「地域をまもる」

8 ～地域の雇用の確保(地域企業の役割)、

「未来を創る」

9 ～地域で付加価値の創出(地域企業の役割)、

10 ～地域資源活用産業の創出(地域企業の役割)



第二章 建設業の果たす役割7

第三節 建設業は「公益企業」

建設業は直接的な企業活動を行うことによって、地域の社会経済の安定や発展に寄与しています。

民間企業ではありますが、地域や住民に対する責任を、行政と共に担っていることを考えると、企業行動には、「公的」な意味合いが伴っています。

企業活動が、地域や住民の利益を守っていることから「公益企業」と見てよいと考えています。

以上のような役割を持ちその役割を果たしている建設業は自らも努力することが必要です。